

平成16年12月6日現在

## 千葉県習志野の事案における毒ガス弾等の埋設情報の収集状況について（案）

千葉県習志野の事案における毒ガス弾等の埋設場所に係る情報は下記の通り。

## 1. 情報収集の経緯

## (1) 厚生労働省からの情報提供（平成15年7～8月）

厚生労働省から環境省へ情報（別紙1、2）が提供された。

保有状況及び処理状況を確認した主な結果は下記の通り。

## &lt;厚生省とりまとめペーパー（別紙1）&gt;

保有場所	保有部隊名等	種類・数量
千葉県習志野市 大久保	陸軍習志野学校	イペリット 不明 ルイサイト 6屯 青酸 若干

投棄場所	投棄作業者名等	種類・数量
陸軍習志野学校 材料廠付近地下に埋設	陸軍習志野学校教導隊員	イペリット } 6屯 ルイサイト } 青酸 若干
千葉県銚子沖に投棄	同上	各種毒物 若干

## &lt;厚生省聞き取り調査票（別紙2）&gt;

保有場所	種類	数量
陸軍習志野学校（習志野市大久保） 習志野原現自衛隊射撃場北側に疎開しあり 当時学校は真毒使用場として使用する。	イペリット ルイサイト	本数不明 檻数不明 約6屯余と記憶する

廃棄場所	種類	数量
昭和20.8.17-20の習志野学校材料廠員、教導隊下士官にてサラシ粉約10屯を使用し開放し消毒の後地下に埋設する。終戦後自衛隊に於て容器一部を発見、米軍化学兵部隊に於いて徹底的完全消毒を行い現在練兵場として使用の筈。	イペリット ルイサイト	本数及檻別不明 約6屯余と記憶する

## (2) 千葉県習志野の事案の取りまとめ（平成15年8～11月）

関係省庁及び都道府県等から提供された情報に基づき、千葉県習志野の事案（別紙3）を取りまとめ、11月末に昭和48年の「旧軍毒ガス弾等の全国調査」フォローアップ調査の報告書として公表。

## (3) 材料廠の位置の確認（平成15年12月）

文献（別紙4）により、材料廠付近の位置を確認。

## (4) 習志野学校出身者への聞き取り調査（別紙5）（平成15年12月～）

習志野学校出身者の証言によれば、毒ガス弾等の処理場所は真毒使用所（現在の自衛隊習志野演習場）及び特殊弾格納庫周辺（現在の住宅地）と推測された。

真毒使用所及び特殊弾格納庫の位置を確認（別紙5、6、7）。

## 2. まとめ

上記の情報収集の結果から、千葉県習志野の事案における保管状況及び処理状況を取りまとめると下図の通り。

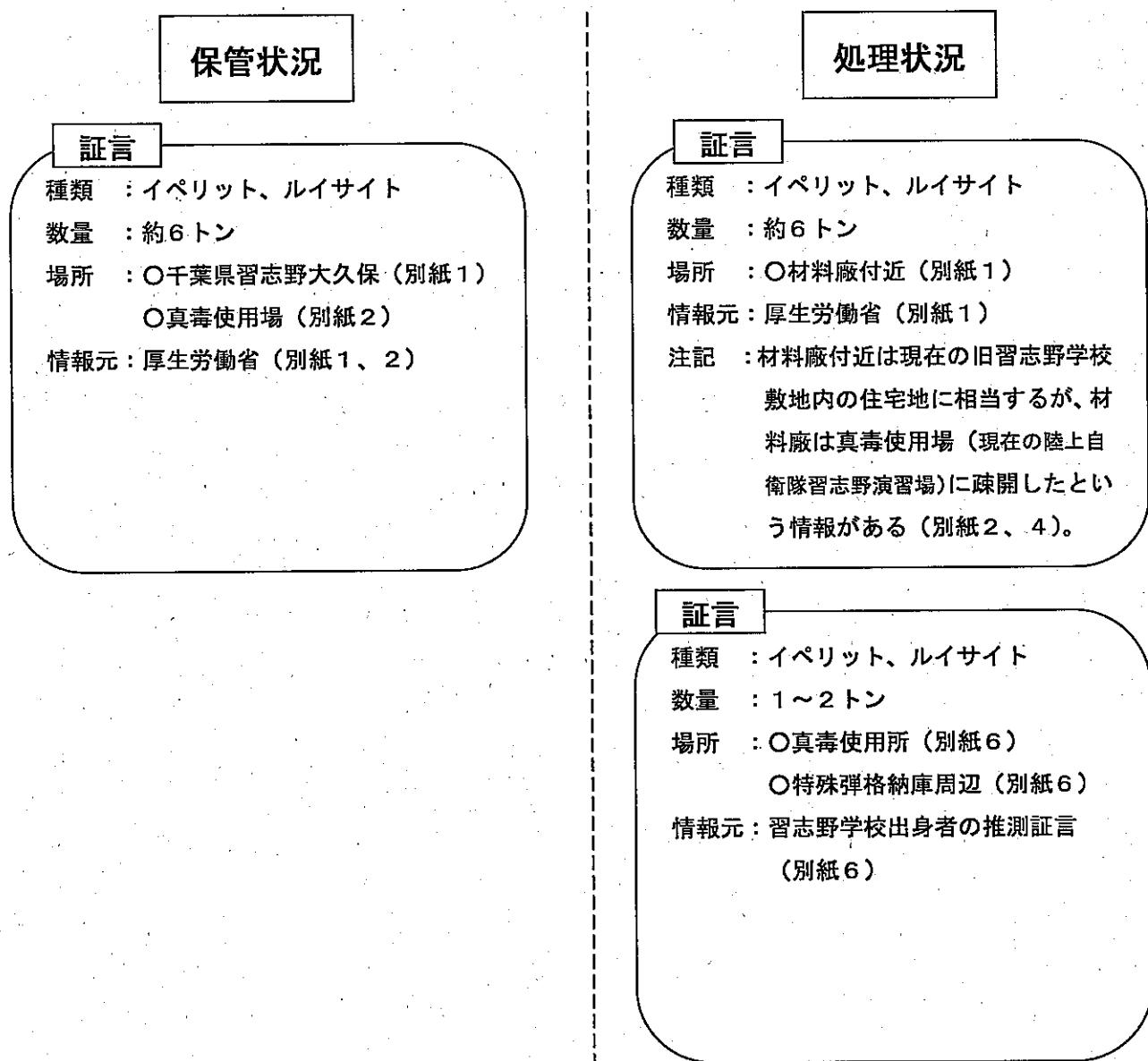


図1 千葉県習志野の事案における保管状況及び処理状況の流れ

情報収集により毒ガス弾等が埋設されている情報がある場所は、下記の通り。

① 真毒使用場

真毒使用場は、現在の陸上自衛隊習志野演習場に相当する。毒ガス弾等を処理する際には、保有場所から近く、且つ日頃から毒ガスを使用していた真毒使用場で処理された可能性もある。

② 旧習志野学校跡地内の特殊弾格納庫周辺

特殊弾格納庫周辺は、現在の旧習志野学校跡地内の住宅地に相当する。毒ガス弾等は特殊弾として保管されていたと思われ、その近くに毒ガス弾が埋設された可能性がある。

③ 旧習志野学校跡地内の材料廠付近

材料廠付近は、現在の旧習志野学校跡地内の住宅地に相当する。材料廠は現在の陸上自衛隊習志野演習場に疎開したという情報もあるが、毒ガス弾等が埋設されたという情報もある。

**3. 今後の方針**

①については、環境調査のうち必要と考えれる調査（物理探査、地下水調査等）を行う必要がある。

②、③については、来年1月から実施する予定の不審物確認調査を行い、その結果を踏まえて適切な対応を講ずる必要がある。



番号	保有場所	保有部族名等	種類・数量	資料の出所	備考
7	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
8	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
9	千葉県習志野市 大久保	陸軍習志野学校	イペリット ライサイト 青酸 若干	現住所 氏名 当時の在所 当時の職業 性別 年齢	不明 6才 若干 人

## 様式2

番号	投棄場所	投棄作業着名等	投棄年月日	種類・数量	資料の生所	備考
9	陸軍碧光野学校 材料廠附近地下 に埋没	陸軍碧光野学校教導隊員 千葉県銚子市に投棄	昭.20年8月	イペリット] 約6t ルバイト] 若干 酸青	資源石炭無 瓦斯當時住所不明 當時瓦斯單人	

昭和48年の全国調査時に厚生省から習志野学校関係者に聞き取り調査を行つた際の調査票

別紙2

別紙 化学兵器処理調査票

種類	保有量	状況		処理状況	施設場所	廃棄場所	廃棄量	廃棄形態	廃棄種類	廃棄日時	廃棄原因
		保有場所	有場所								
ペルオルム	不規則な瓶詰等 （10kg）	陸軍留志野学校 陸軍留志野学校 陸軍留志野学校	陸軍留志野学校 陸軍留志野学校 陸軍留志野学校	ペレット 木箱 木箱	本部用 新兵用 新兵用	20.8.27 未定 未定	未定 未定 未定	木箱 木箱 木箱	未定 未定 未定	未定 未定 未定	未定 未定 未定
青酸	1kg (1kg)	陸軍留志野学校 毒物室	陸軍留志野学校 毒物室	キベー キベー	木箱 木箱	未定 未定	未定 未定	木箱 木箱	未定 未定	未定 未定	未定 未定
ヒ付イ	ガラス瓶 1本	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定	未定 未定
火薬	各種 多量	木箱 木箱 木箱 木箱	木箱 木箱 木箱 木箱	木箱 木箱 木箱 木箱	未定 未定 未定 未定	未定 未定 未定 未定	未定 未定 未定 未定	木箱 木箱 木箱 木箱	未定 未定 未定 未定	未定 未定 未定 未定	未定 未定 未定 未定

備考

1. 調査の対象となる化学兵器はイヘリット、ルイサイト、青酸、ホスゲン、ジフエニルシアンアルシン等である。  
2. 廃棄場所についてはできるだけ詳細に記入されたい。

参考  
1. 高級専門学校、高等専門学校(専門免除)の廃棄は追跡の未了が基に一部で取扱う。提供者  
2. 実業学校教科書事務部(生徒補助金)。支拂也  
3. 低級専門学校は基づく校内に於ける生徒会(生徒会幹事会)が廃棄する(生徒会幹事会)  
4. 低級専門学校は下校門番(下校門番会員会)が廃棄する

現職業 現職業  
氏名 元陸命化名(新規)ナ佐

## 化 学 兵 器 处 理 等 調 査 票

別紙

保有状況				処理状況			
種類	形態	数量	保有場所	種類	形態	数量	廃棄場所
イペリット ライサイト	ドラム缶 (容器)	本数不明 檻数不明 約6屯余と 記憶する	陸軍習志野学校(習志野市大久保) 習志野原現自衛隊射撃場北側に疎開 しあり 当時学校は真毒使用場として使用する。	イペリット ライサイト	本数及檻別 不明 約6屯余と 記憶する	ドラム缶 (容器)	昭和20.8.17~20習志野学校材料廠 員、教導隊下士官にてサラン粉約10屯を 使用し開放し消毒に於て容器一部を希見、米 終戦後自衛隊に於いて徹底的完全消毒を 行い現在練兵場として使用の告 知
青酸	ポンペー	2—3本 (使用残)	陸軍習志野学校(習志野市大久保) 毒物庫	青酸	ポンペー	2—3本 (使用残)	上記兵數員にて毒物場に於いて夜間放散する。 放散後ボンペーは無毒なるも地下埋設せし告 知
ライサイト	ガス弾	なし					ガス弾は常時保管しあらず 実験演習学生教育の際はその都度補給廠又は技本化學部より受領し演習場に随て全量を使用し学校には持還 らざるも尤可とする。但し校内に於て真美作業をせする場合は信管を除き校内毒物場に一二は放置することもあつた。
各種実験用 毒物	各種容器 見本用 弾薬	極少量	校内毒物廠 実驗講堂	各種実験用 毒物	各種容器 見本用 弾薬	極少量	一切を整理の後 昭和20.8.20日材料廠員の手に依り自動車にて鉢 子に搬送し現場処理員の指示に依り沖合に放棄 する。

備考

- 1 調査の対象となる化学兵器はイペリット、ライサイト、青酸、ホスゲン、ジフェニルシアンアルシン等である。  
 2 廃棄場所についてできるだけ詳細に記載されたい。

- 参考
1. ●●当校に於ける兵器弾薬(毒物を除く)の処理は進駐せる米軍の指示に基き一切を処理する
  2. その関係書類は東部軍兵器部(共生講堂)の返還せり。
  3. 化学器材は米軍の指示に基き校内に於て米軍に引渡す(米軍は横浜港  
より米国に送還せり)
  4. 化兵衣類は下志津飛行場に於て米軍立会のもとに焼却せり
- |     |             |             |
|-----|-------------|-------------|
| 提供者 | 元所属         | 陸軍習志野学校材料廠長 |
| 現職業 | 無職          |             |
| 氏名  | 元陸軍化兵(騎兵)少佐 |             |

事案名	習志野の事案 (千葉県12-2)
分類	<input type="radio"/> 生産・保有 <input type="radio"/> 廃棄・遺棄 <input type="radio"/> 発見・被災・掃海等処理 <input type="radio"/> 現在の状況 <input type="radio"/> その他
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『陸軍習志野学校』1987年〔1〕</li> <li>・『習志野市史』第1巻通史編、平成7年・同『習志野市史』第4巻資料編(III)、平成6年〔2〕</li> <li>・『学校が兵舎になったとき』1996年〔3〕</li> <li>・証言〔4〕</li> <li>・Target No. 1453 (Narashino) Technical Intelligence Report of Captured Japanese CW Material (Narashino)〔5〕</li> <li>・証言(昭和48年調査)〔6〕</li> <li>・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔7〕</li> <li>・『朝日新聞』(昭和26年10月19日)〔8〕</li> <li>・「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告(案)」〔9〕</li> <li>・「毎日新聞」夕刊連載記事「化兵のとりで」(平成7年5月17日・5月24日・5月31日・6月7日)〔10〕</li> <li>・証言〔11〕</li> <li>・『毒ガス戦関係資料II』1997年〔12〕</li> <li>・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」平成15年10月9日〔13〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>千葉県習志野には、昭和8年に創設された陸軍習志野学校跡が存在する。陸軍習志野学校は、毒ガス戦の教育と毒ガス兵器の運用研究を行なう機関であり、毒ガスの交付も行われた。戦後、同地域から毒ガス弾等が発見された事案がある。なお、「千葉県習志野」には、千葉県習志野市以外に千葉県船橋市、千葉県八千代市の市域が含まれる。</p> <p>○生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毒ガスを用いた教育や研究が行われており、毒ガスが交付されていたことが確認される〔1〕〔2〕。また、特殊なガス室(八面房)跡も確認されている〔3〕。</li> <li>・昭和16年に習志野学校で毒ガスに関する訓練を受け、イペリット、ルイサイト、催涙ガス、火炎瓶を扱ったという証言と、昭和19年11月から習志野学校で1週間毒ガスの教育を受け(被災したときの応急措置等)、イペリットの2斗のドラム缶数百本野が積みされていたのを目撃した(射場の裏側)という証言が得られている〔4〕。</li> <li>・習志野学校の設備・機材等について記載されている〔5〕。</li> </ul>